

本県教育を取り巻く社会経済状況(主なもの)

- 人口減少の加速化 ○気候変動と自然災害
- グローバル化の進展と国際環境の複雑化
- VUCAの時代(変動性、不確実性、複雑性、曖昧性)
- 共生社会・社会的包摂 ○Society5.0の到来

第6次山形県教育振興計画期間の現状(主なもの)

- 探究型学習の拡大・浸透 ○併設型中高一貫教育校の設立
- 自分には良いところがあると思う児童生徒の割合が高い
- 運動時間数の減少 ○不登校児童生徒の増加
- 教員志願倍率の低下 ○授業でのICT利用頻度が低い

今後を見据えた課題(主なもの)

- 予測困難な時代を生き抜くための変化に対応できる力の育成
- 多様な個人を尊重し、包摂社会に寄与する態度・姿勢の育成
- DXや少子化、地域との連携等、様々な変化に対応した学びの環境整備

【目標】ウェルビーイング※を目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり

※ 身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず将来にわたる持続的な幸福を含むとともに、個人だけでなく、地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。

<目指す社会>

- ◎異なる立場や考え、価値観を持った人々が豊かに生き活きと暮らす中で、
 - 子どもは、学校の中だけでなく、社会の中で交流し、ワクワク感(意欲、興味、関心)を持って自ら選択し学び合っている
 - 大人・家庭は、互いを尊重する姿を見せ、子どもの試行錯誤を見守り、挑戦できる環境をつくっている
 - 地域等は、子ども一人ひとりの違いや個性を認め、それぞれに応じた多様な学びの場や安全・安心な環境を提供している

【県民の皆様へ(メッセージ)】

- 本計画は、教育行政の取り組みを中心にまとめたものだが、県民一人ひとりが自分事としてとらえ、学校・家庭・地域が当事者としてそれぞれの役割を果たしながら一緒に取り組むことが大切。

ウェルビーイングを目指して、**県民みんなでチャレンジ!**

●子どもたちへ

- ・地域や社会で色々な人と交流する
- ・学ぶ楽しさや意味を知る
- ・失敗を恐れず、様々なことをやってみる
- ・自分を大切にするとともに、他者を尊重する など

●保護者、家庭の皆様へ

- ・家庭は子どもの学びや社会性を育む原点となる
- ・子どもが自分で育つ力を信じ、遠くから見守りながら困った時は手を差し伸べる
- ・家庭は子どもが安らげる場所となる など

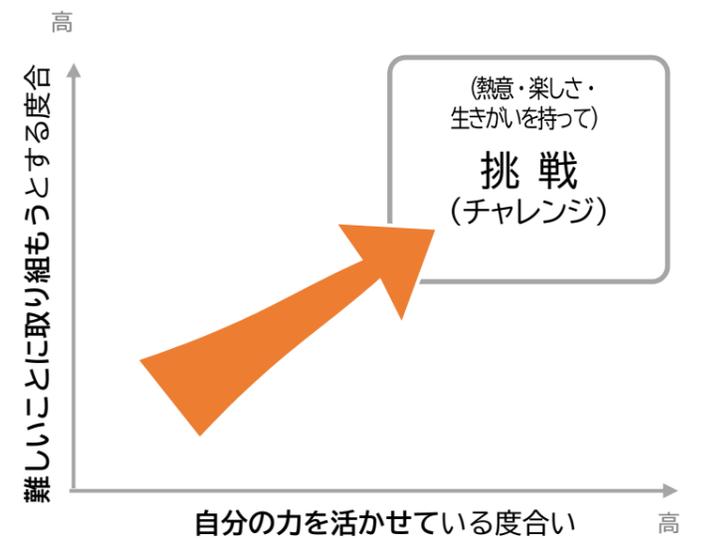
●地域、企業・NPOの皆様へ

- ・画一的な学びから個別最適な学びへの変化を認識する
- ・学びの場は学校以外に広がり、地域や企業、社会全体が主体的に参画し提案する
- ・子どもの健康や成長を見守る など

<ウェルビーイングを目指すためには>

- ・個人の幸せだけでなく、社会が幸せを感じられるよう、県民皆が自分の力を活かしながら、前向きに取り組んでいることが重要

→「挑戦」していることが重要



県民みんなでチャレンジ!

- ウェルビーイングを目指し、これだけは、子ども目線で、県民みんなでチャレンジしていこう!という重点的取り組み(詳細は次頁)(ウェルビーイングにつながる要素を4つに整理し、教育の観点で設定したもの)

チャレンジ1 体験

ワクワク無限大

チャレンジ2 探究

「なんで？」を大切に

チャレンジ3 尊重

みんなが主役で応援団

チャレンジ4 協働

みんな笑顔で

DXはみんなの友達 [アクション6]

【子どもも大人も】デジタルのメリットを最大限に活かしてチャレンジ

・生成AIの活用



例:課題研究での生成AIの活用(酒田光陵高校)

・メタバースの活用



例:生徒が制作したメタバースによる『鶴工バーチャル体験入学』(鶴岡工業高校)

◆ 県民みんなでチャレンジ！ <イメージ>

チャレンジ1 体験

ワクワク無限大

ワクワク体験施策パッケージ

- **子どもたち** 学校内外で大人や企業等と積極的に関わり、農作業や芸術、起業や商品開発など様々な**体験**にワクワク挑戦！

例) 企業等の助言を受けながら、マーケティング、商品企画・開発、加工・販売等を体験し、実際に起業する

- **家庭** 子どもたちを様々な**体験**に送り出す

例) 自身の仕事上の失敗談を子どもたちと共有しながら、子どもたちがマーケティングを行う際のアンケートや、試験販売での送迎等で協力する

- **地域の大人** 仕事や作業を任せる等、子どもたちへリアルな**体験**の機会を提供する

例) 地域の企業や起業家が、起業に係る一連の取組みを子どもたちと伴走するとともに、起業に必要な場所等のリソースや資金を提供する

- 子どもへ多様な体験の提供
 - ・地元企業等との連携による農業体験、職業体験などリアルな体験活動の提供
 - ・学校における、地元企業等と連携した起業家教育の実施
- 家庭への体験参加支援
 - ・企業と連携した親子体験プログラム等、家庭が参加しやすい体験活動の提供
- 企業への支援
 - ・体験活動の協力企業を認証するなど、インセンティブの付与

チャレンジ2 探究

「なんで？」を大切に

なぜなぜ探究施策パッケージ

- **子どもたち** 様々なことに「なんで？」と興味関心を持って自分で調べたりして**探究**し、自由な発想で新しいことに踏み出す！

例) 企業等から提案あった地域課題について、大学生等のサポートを受けながら、一人一台端末を活用してデータ分析したり、現場調査をして解決策を探る

- **家庭** 子どもの自由な発想を後押しし、試行錯誤を見守り、支える

例) 探究学習を理解し、子どもたちの「なんで？」と一緒に興味関心を持ち、調べたり、悩んだりする

- **地域の大人** 機材や人材の提供等、子どもの**探究**の機会や場を支える

例) 地域の企業等は学校や子どもたちに一緒に解決してほしい実際の課題を提示し、必要な資機材を提供するとともに、大学等は課題解決のアドバイスをする

- 子どもたちの探究心の醸成
 - ・学校での探究学習や STEAM 教育の拡大
 - ・課題発見、生成 AI はじめ ICT 活用や分析等、探究学習のサポートを行う大学との連携拡大
- 家庭の探究学習への理解促進
 - ・探究学習の意義・実践等に関する家庭教育の研修会等の実施
- 企業や大学との連携
 - ・地域との協働を通じた高校の特色化・魅力化
 - ・企業へのインセティブ付与や学校における大学との連携協定の締結

チャレンジ3 尊重

みんなが主役で応援団

多様性尊重施策パッケージ

- **子どもたち** 自分を大切にするとともに、互いの個性を**尊重**してコミュニケーションし、一人ひとりの良いところを見つける！

例) 生徒会活動や海外の学生との交流等、学校内外で様々な人と交流し、自分と他者の意見の違いを認識しながら対話を重ねる

- **家庭** 親子で対話し、子どもの生活習慣を整え、**社会性を育む**

例) PTA 等での家庭教育の研修を活かしながら、子どもと対話し、自分も他者も尊重する意識や生活を整える姿勢を育む

- **地域の大人** 子どもの模範となりながら心身の**成長を支える**

例) あいさつや礼儀、他者の尊重などを子どもと接する中で示すとともに、外国人や不登校等様々な事情を持つ子どもたちを当事者となって支える

- 子どもの多様性の尊重
 - ・リアル・オンラインの国際交流等、多文化共生に関する学習の充実
 - ・学びの多様化学校の設置による不登校児童生徒への対応
 - ・夜間中学の設置等学び直しが必要な方々への対応
 - ・発達障がい児や医療的ケア児の支援等、特別支援教育の推進
- 家庭教育等への支援
 - ・PTA 等と連携した家庭教育の研修会の実施
- 地域の取組みへの支援
 - ・子どもの見守り活動など地域学校協働活動の推進
 - ・フリースクール等民間団体との連携

チャレンジ4 協働

みんな笑顔で

みんな笑顔施策パッケージ

- **子どもたち** 地域イベントやボランティアなどで**協働**し、学びを実際に活かしながら、楽しく**地域社会を創っていく**！

例) 学校行事や部活動、他校や他学年との交流等における、楽しんで協力し合った経験を活かし、町内会の行事など地域の活動に積極的に参加する

- **家庭や地域の大人** 地域活動に子どもたちの意見を取入れるなど、生き生き安心して**協働**できる環境をつくる

例) 子どもを地域の一員として、地域行事の運営に役目を持たせたり、大人と一緒に地域のスポーツ活動を行う等、子どもたちが学校での学びを活かして地域活動を行えるようにする

- 子どもが協働する機会の創出
 - ・多様に学び合いコミュニケーションできる異学年共同学習や地域の伝統文化や行事の学習展開
 - ・公民館等社会教育施設を核として、子どもたちが継続的に参加・参画できる地域活動の展開
- 家庭や地域との協働
 - ・地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進による学校と地域との連携強化
 - ・総合型地域スポーツクラブの充実等、多様なスポーツに親しめる環境の構築

方針Ⅰ 一人ひとりが自分らしく可能性にチャレンジできる学びを実現する

アクション1 自ら考え、主体的に行動する力を育む

・は取組みの方向性（例）

- 様々な体験を通し自分の興味関心を見つけ、行動する経験を積み重ねることで、主体的に学び続ける

① 確かな学力の育成

- ・ 児童生徒が主体的に課題を自ら発見し、多様な人と協働しながら課題を解決する探究学習の拡大
- ・ 1人1台端末の積極的な活用等個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実
- ・ 多様な子ども一人一人の状況に応じたきめ細かな指導や専門性の高い教科指導に向けた少人数学級編制の展開
- ・ 同一年齢・同一内容の学習にとらわれない異学年共同学習の展開
- ・ 幼児教育と小学校教育の接続の改善等生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の推進 等

② キャリア教育の充実

- ・ 「キャリア・パスポート」等を活用した社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力の育成
- ・ 地元企業等と連携した職場体験や就業体験（インターンシップ）の実施等職業実践力の育成 等

アクション2 新たな価値を創造する力を育む

- 時代の変化を敏感に捉え、自由な発想で果敢に挑戦し、失敗しても諦めずに創意工夫する

③ グローバル社会の人材育成

- ・ オンライン英会話や外国語指導助手（ALT）等を活用した外国語教育の充実
- ・ 留学支援などによる海外体験学習の実施
- ・ オンラインでの姉妹校交流等 ICT を活用した海外との交流の拡大
- ・ 県内在住外国人との国際交流体験等による多文化共生に関する学習の展開 等

④ イノベーションを担う人材育成

- ・ 大学等高等教育機関や企業との連携等による STEAM 教育の充実
- ・ 地元企業等と連携した起業体験活動の実施等起業家教育（アントレプレナーシップ教育）の展開 等

アクション3 互いを尊重し前向きに生きる心と体を育む

- 豊かな心健やかな体を育み、互いを尊重し、社会の一員として自分の意志を持ち前向きに行動する

⑤ 豊かな心の育成

- ・ 自然体験活動や農山漁村体験、工場見学、職場体験等地域や企業等と連携・協働した体験学習の充実
- ・ 文化芸術に触れる機会や、地域の伝統文化、行事等を体験する機会の確保等感性や郷土愛の育成
- ・ 自己の生き方を考え、自立した人間として他者と共に生きるための道徳教育の推進 等

⑥ 健やかな体の育成

- ・ 子どもの基本的な生活習慣の確立や学校給食を活用した実践的な指導等健康や食に関する教育の推進
- ・ 幼児期からの遊びを通じた運動やアスリートとの交流活動等を通じた体力、運動能力の向上 等

⑦ 主体的に社会の形成に参画する態度の育成・規範意識の醸成

- ・ 租税や財政、法に関する学習等主権者教育の推進 等

方針Ⅱ 誰一人取り残されず、誰もが続けられる学びの機会を充実する

アクション4 それぞれの個性を活かし尊重した学びを実現する

- 一人ひとりが違うことを前提に、多様な他者との交流による学び合いを進めそれぞれの可能性を引き出していく

⑧ 特別支援教育の推進

- ・ 自校通級や巡回指導の促進など通級による指導の充実、特別支援学校のセンター的機能の充実等、特別支援教育の充実
- ・ 就労支援コーディネーターの配置等就労支援の充実
- ・ 医療的ケア看護職員の配置等医療的ケア児の支援 等

⑨ 様々な事情を持つ子どもへの対応

- ・ 校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム等）の設置やスクールカウンセラー等の配置、ICT を活用した学習支援、学びの多様化学校の設置促進や民間団体との連携等不登校児童生徒への対応
- ・ スクールソーシャルワーカーの活用や学習指導員による学習支援等家庭の事情等により学業に影響が生じている子どもへの対応
- ・ 日本語指導を行うための教員配置や夜間中学における就学機会の提供等外国人児童生徒への対応 等

アクション5 生涯にわたり学びやスポーツ・芸術文化活動を楽しむ

- 人生100年時代を見据え、学校だけでなく地域や企業、社会全体で、大人も子どもも多様な人と一緒に生涯学び、それを社会の中で生かす学びのサイクルを実現する

⑩ 生涯学び、活躍できる環境整備

- ・ 県立図書館の充実等働きながら学べる環境の整備
- ・ 文化芸術団体や大学との連携・協力等文化芸術の鑑賞・体験活動の推進 等

⑪ 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進

- ・ 地元企業との連携した体験事業の実施等による社会教育機関の活性化
- ・ 社会教育主事講習の受講促進等社会教育人材の養成 等

⑫ スポーツを通じた豊かな心身の育成

- ・ 総合型地域スポーツクラブの充実等地域において多様なスポーツに親しめる環境の構築
- ・ 競技団体との連携等アスリートの発掘、育成 等



県内の特徴的な取組事例

【探究ヘルプデスク】
・ 大学生による、高校生の探究活動のサポートの取組み（東北芸術工科大学）



【朝日中スキマクラス2.5組】
・ 民間企業による、公立中学校内のオフィス設置と生徒との交流、先生の授業支援（地域振興サポート会社まよひが企画）

方針 III 社会の変化に対応した学びの環境を整える

アクション 6 教育DXを実現する

- ICTの活用が日常化し、学ぶ場所を自由に選び、教育データを活用して、リアルな体験と組み合わせた一人ひとりにあった充実した学びを実現する

⑬ 教育DXの推進・デジタル人材の育成

- ・課題発見・解決等における1人1台端末の活用や情報モラル教育の充実等による児童生徒のICT活用力の育成
- ・政府のガイドラインを踏まえた生成AIの活用や家庭学習でのAIドリルの活用等AI活用の促進
- ・学校間の合同学習、生徒の進路希望に対応した科目開設等遠隔授業の拡大
- ・政府における教育データの標準化や分析フォーマットの策定等を踏まえた、学校等における教育データの分析・活用の促進 等

⑭ ICT環境の整備

- ・1人1台端末の更新整備や学校のネットワーク環境の充実等ICT設備等の充実 等

アクション 7 活力あふれる学校を実現する

- 家庭や地域と役割分担しながら、外部人材の活用などにより、先生が余裕と余白を持つとともに、子どもが前向きに挑戦できる環境をつくる

⑮ 指導体制の強化

- ・学校・教師が担う業務の適正化や教員業務支援員をはじめとする支援スタッフの配置、校務のデジタル化等の学校DX等教職員の働き方改革の推進
- ・大学と連携した教員養成や教員免許状保持者の入職促進、教員採用選考試験の改善等教員の養成・確保の推進
- ・オンデマンド教材などのデジタル技術の活用等による研修の充実 等

⑯ 教育環境の整備

- ・人口減少や地域の状況を踏まえた県立学校の再編
- ・教育環境向上や長寿命化改修等計画的な学校施設等の整備 等

⑰ 児童生徒等の安全確保

- ・学校における熱中症事故防止対策や、家庭、地域、関係機関等と連携・協働した学校安全の推進 等

アクション 8 家庭や地域と一体となって子どもの学びを支える

- 子どもも大人も、学校の中でも外でも、自分の学びたいように学べる場や学べる選択肢を社会全体で協働し支えていく

⑲ 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上

- ・地域学校協働活動推進員の効果的な配置促進や常駐化、資質向上等地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進
- ・家庭教育支援者への研修会の実施や家庭教育相談窓口の運営等家庭教育支援の充実
- ・地域との協働を通じた高校の特色化・魅力化や地域をフィールドとした教育活動の充実等地域一体となった県立高校の活性化 等

⑳ NPO・企業・大学・地域団体等との連携・協働

- ・子どもの教育等に協力する企業へのインセンティブの付与等学校と企業等との連携促進